



銀山街道沿線市町等連携協議会

銀の道広域連携実行委員会



沿線地域の観光・施設に関するお問合せ

A 大田市
 (一社)大田市観光協会
 ☎ 0854-88-9950

E 世羅町
 世羅町商工観光課
 ☎ 0847-22-3216

I 笠岡市
 笠岡市観光連盟
 ☎ 0865-69-2147

B 美郷町
 美郷町観光協会
 ☎ 0855-75-1330

F 尾道市
 尾道市観光課
 ☎ 0848-38-9184

J 井原市
 井原市地域創生課
 ☎ 0866-62-8850

C 飯南町
 (一社)飯南町観光協会
 ☎ 0854-76-9050

G 府中市
 府中市観光協会
 ☎ 0847-43-7135

D 三次市
 《観光情報に関するお問合せ先》
 (一社)三次市観光協会
 ☎ 0824-63-9268
 《銀の道に関するお問合せ先》
 三次市観光スポーツ交流課
 ☎ 0824-64-0066

H 福山市
 福山市観光課
 ☎ 084-928-1042

銀の道とは・・・

現在の島根県大田市の石見銀山の中心地であった大森から、銀や鉱山石を港に運ぶために利用されていた旧街道のことを言います。「銀の道」には、大森から日本海へ抜ける道と瀬戸内海へ抜ける道とがあります。日本海へ抜ける道は、「軻ヶ浦道」と「温泉津沖泊道」、瀬戸内海へ抜ける道は灰吹銀を運んだ「尾道道」と運上銀を運んだ「上下・府中・福山道」がありました。大森から尾道の港へは、幕末まで、牛馬300頭と人足400人という大輸送隊が3泊4日の行程で銀を運んでいたといわれています。

この事業は(一社)中国建設弘済会の助成を受けています。



（凡 例）

■ 石見銀山街道

■ 幹線国道

■ JR在来線

■ 新幹線

■ 高速自動車道

■ 道の駅

■ 銀山街道エリア

● 癒す・遊ぶ

● 買う・食べる

● 見る

● 学ぶ・体験

● 歴史

拠点スポットのご紹介

ご注意ください！
運行本数が少ない区間もございます。必ず事前に時間をお調べの上、お出かけください。

宇賀 UGA 6km			広島県 三次市
甲奴 KONU 5km	ジミー・カーターシビックセンター 三次市甲奴町本郷 10940 毎週月曜日 年末年始	アクセス JR 甲奴駅から徒歩 20 分 甲奴駅前バス下車 徒歩 20 分 三次駅・広島 BC からバス有り 中国やまなみ街道 甲奴 IC より 8 分	周辺 いこいの森弘法山 須佐神社
上下 JYOGE 21km			広島県 府中市
JR 上下駅 21km	 府中市上下町上下 847-1 無	アクセス JR 上下駅下車 上下駅前バス下車 道の駅びんご府中・広島 BC からバス有り 中国やまなみ街道 甲奴 IC より 15 分	周辺 上下のまちなみ 矢野温泉公園 四季の里
府中 FUCHU 18km			広島県 府中市
JR 府中駅 18km	 府中市府川町 19 無	アクセス JR 府中駅下車 道の駅びんご府中バス下車 徒歩 5 分 広島 BC・福山駅からバス有り 中国やまなみ街道 尾道北 IC より 15 分	周辺 恋しき 首無地蔵
神辺 KANNABE 17km			広島県 福山市
井原鉄道湯野駅 17km	 福山市神辺町湯野 86-2 無	アクセス 井原鉄道湯野駅下車 山陽自動車道 福山東 IC より 15 分	周辺 菅茶山記念館 備後国分寺
笠岡 KASAOKA MAP II 尾道へ			岡山県 笠岡市
笠岡市中央公民館 25分	 笠岡市笠岡 1866-1 月曜日（第3日曜日の翌を除く）	アクセス JR 笠岡駅から徒歩 5 分 笠岡駅前バス下車 徒歩 5 分 福山駅・井原 BC などからバス有り 山陽自動車道 笠岡 IC より 10 分	周辺 笠岡市立カブトガニ博物館 道の駅 笠岡ベイファーム

公共交通機関情報

中国バス府中上下線 道の駅びんご府中

25分 木ノ山 20分

*木ノ山：銀の道に隣接

府中駅～湯野駅の途中駅

福塩線 井原線

府中 湯野 新市 戸田 近家 万能倉 道上 湯村 神辺 湯野

上記以外にもご利用いただける手段があります。

ご注意ください！

 運行本数が少ない区間もございます。必ず事前に時間をお調べの上、お出かけください。

広島県 三次市

広島県
三次市

広島県 府中市

広島県 府中市

広島県 福山市

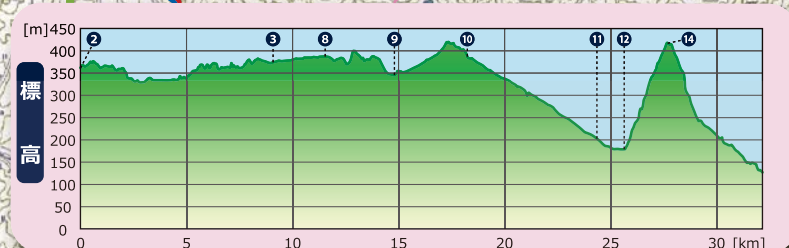
岡山県
笠岡市

公共交通機関情報 上記以外にもご利用いただける手段があります。

[illegible]



江戸時代の天領は 街道の要衝地。



① 中山一里塚跡

古舎と甲奴の境界となる峠の頂付近に一里塚の跡が残っていたが、現在、塚は数に覆われ見えにくくなっている。

③ 下野の道標

総領町に向かう道との交差点に残っていたと思われる道標。近年の道路改良で新しく作り直され、商店の門先に置かれている。

⑤ 大黒屋道標

上下町の伝統的町並み地区の一角に残されている道標。道路拡幅工事の時、少し移動して残したという。

⑦ 旧郷宿跡

かつて役所の仕事を代行する「郷宿」と呼ばれる公事所があった。その名残を示す虫籠窓やだつが残されている。

⑨ 井永の一里塚

井永の古道沿いに今でも一里塚が残る。正面に見える大きな古木の根元には、「南無阿弥陀仏」の名号石が建っている。

⑪ 竹内の常夜灯

水永の峠を越えてきた道は緩やかに下りながら、小集落を縫うように進む。道沿いには今も常夜灯や辻堂が残っている。

⑬ 坂根地蔵

「かさ地蔵」とも言われ、昭和の初め頃までは近在に知れわたり、多くの参拝者でにぎわっていた。

② 宇賀の辻堂

地元では、郷地蔵(ごうじぞう)さんと呼ばれている。銀の道はこの先で「笠岡ルート」と「尾道ルート」に別れる。

④ 上下大師堂

旧街道に面しており、町の入り口となる場所に大師堂が建立されている。今でも、地域の人々の信仰が厚く、供え物が絶えない。

⑥ 旧角倉家の横門

この門はもともと代官所の門であったが、角倉家が払い下げを受けたもの。すぐ近くの外門も見応えがある。

⑧ 天領代官所跡

幕府の天領であった上下には、代官所が置かれていた。現在は役場支所となっているが、石垣は当時のまま残っている。

⑩ 猫地藏

庄原市東城の猫山に住む古猫が、ここで息絶えたという伝説が残る、その霊を慰めるため地藏尊を安置したという。

⑫ 木野山の道標

木野山町の旧街道沿いに残っている小さな道標。府中という字が刻まれているのがわかる。

⑭ 坂根峠の頂上

木野山からの峯越えルートに坂根峠がある。頂上付近にはそれを示す碑が建つ。ここから府中市荒谷へと下る。



凡例	
<宇賀～笠岡 ルート>	銀の道
<大森～尾道 ルート>	銀の道
●	主な施設
P	駐車場・駐車可能場所
♿	トイレ
📍	銀の道(サイクリング)
📍	銀の道(サイクリング)
📍	拠点スポット
♿	トイレ(車いす可)
🍽	レストラン・食堂

銀の道(青い線)の一部は、時期によっては草木の生い茂る箇所も有ります。通行が困難な場合は、「銀の道(サイクリング)」ルートを迂回としてご利用ください。

「銀の道」の大部分は地域の皆さんの生活道路です。交通法規を守り、迷惑運転にならない様、注意して運転してください。



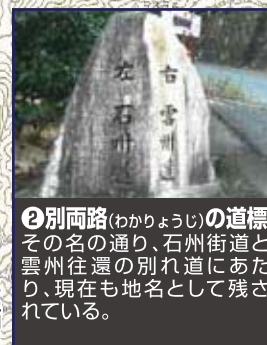
いにしえの生活文化と 参勤交代の往時をしのぶ。



① 荒谷の古道・茗荷丸
木野山からの峯越えルートを降りてくると、府中市荒谷にはいる。当時の道筋が残されており「ササノオノミコト」の伝説がある。



⑥ 川上の梵字岩
お堂の後の大岩に彫ってある梵字は「不動明王」を表している。山伏が供養のため彫ったという言い伝えが残っている。



② 別両路(わかりょうじ)の道標
その名の通り、石州街道と雲州往還の別れ道にあたり、現在も地名として残されている。



⑥ 甘南備(かんなんび)神社
府中では唯一の延喜式内社で、「コトシロヌシ・オクノヌシ・スクナヒコナ」の3柱を祭神とする。



⑦ 出口町の番所跡
江戸時代、ここに福山藩の詩人「菅茶山」が、別両路橋の橋台となっている大きな岩を見て、この詩を詠んだ。



⑦ 出口町の番所跡
江戸時代、ここに福山藩の詩人「菅茶山」が、別両路橋の橋台となっている大きな岩を見て、この詩を詠んだ。



⑧ 出口町の道標
川上に小さなお社が残っている。「明治屋天満宮」とある。



⑧ 出口町の道標
荒谷から降りてきた道はここで東に折れ、府中の中心部へと向かう。道標には石州道という文字が見える。

上下から約 20km
大森から約 125km

歴史民俗資料館

用土前

府中市文化センター

JR府中駅

首無地蔵

六地蔵

川上の梵字岩

茗荷丸

別両路の道標

甘南備神社

「恋しき」

「恋しき」

「恋しき」



⑩ 広谷常夜灯
道はここで2つに分かれる。北へ向かう道は「吉備津神社」へつながり、もう一方の道は新市の中心部へと向かう。



⑩ 戸手の地藏堂
古い街道の脇には、地藏様を祭った、辻堂が残っており、今でも地域の人々が大切にしている。



⑩ 万能倉の道標
石州道と東城方面へ向かう道の分岐点に、道標がある。「西府中道・東岡山道」と表示されている。

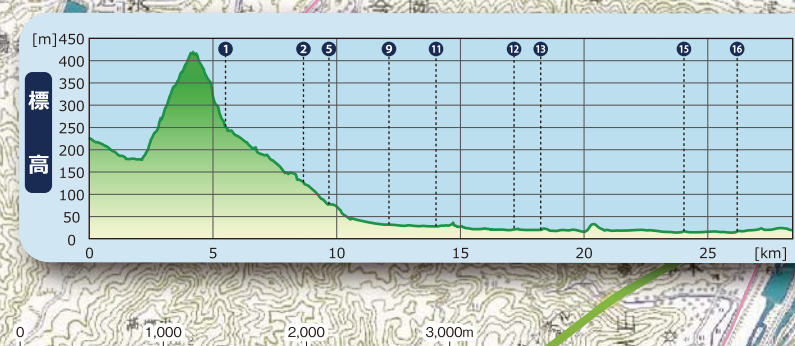


⑩ 信岡フラットミュージアム
かつて庄屋を務めた信岡家の建物(登録有形文化財)を、外観は江戸時代そのまま保存。内部は芸術文化発信の複合施設となっている。



⑩ 福山藩番所跡
神辺町道上の岡山神社付近に、番所跡を示す石柱が残っている。

凡例	
銀の道	銀の道(サイクリング)
● 主な施設	● 拠点スポット
P 駐車場・駐車可能場所	トイレ(車いす可)
トイレ	レストラン・食堂
銀の道(青い線)の一部は、時期によっては草木の生い茂る箇所もあります。通行が困難な場合は「銀の道(サイクリング)」ルートを用い、注意して運転してください。	
「銀の道」の大部分は地域の皆さんの生活道路です。交通法規を守り、迷惑運転にならない様、注意して運転してください。	

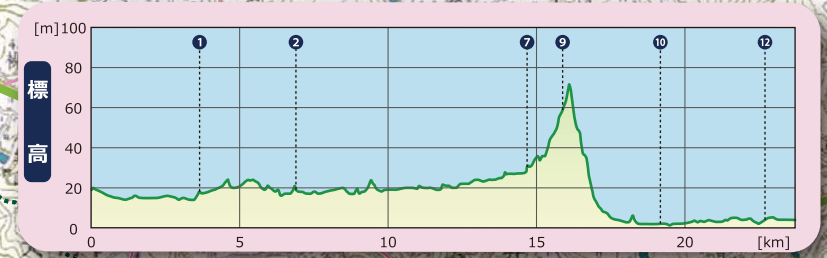


神辺

複製不許可



歴史文化の香り高い 町並みを経て瀬戸内へ。



①福山藩番所跡
神辺町道上の岡山神社付近に、番所跡を示す石柱が残っている。



②備後国分寺
全国に建てられた国分寺の一つ。現在の建物は江戸時代に福山藩主水野勝種により再建された。山門前には菅茶山の詩碑が建ち並ぶ。



④藩境の石
広島・岡山県境に、大正八年に建てられた県境標柱が建っている。標柱の下と道路向かいの側溝に古い境石が残されている。



⑥高屋宿の町並み
往古より石見街道、中国路の宿駅として栄え、人馬の継ぎ立てを行ってきた。今でも宿場町としての面影を残している。



⑧石州往来茶店跡
ここで石州路はゆるやかなのぼり坂になり、中山の地蔵堂のすぐ上には茶店があったと伝えられる。



⑩西の堂
街道沿いに残された比較的大きな辻堂は、街道の風格のようなものを感じさせる。



⑫井戸平左衛門の墓所
飢饉を救った芋代官「井戸平左衛門」は、笠岡で生涯を閉じた。笠岡市笠岡の「威徳寺」にそのお墓がある。



③石州道石標
この道標は、かつて山陽道と石州道の交差点付近に立っていた。現在は、下御領の八幡神社境内に残されている。



⑤地神さん
文政12年(1829)に吉野地区の氏子が奉納した。備中地方では、五角柱の地神碑は山陽道以南に見られると言われている。



⑦峠の番所跡
笠岡は幕府直轄領として福山藩から切り離された。その際、坪生の地は国境となり、この番所も重要性を増した。



⑨坪生の古道
笠岡へのルートはいくつかあって、この竹やぶをぬける道もその1つと考えられる。古道がそのまま残っている。



⑪地神石柱
有田踏切をこえた新しい道沿いに五角柱の石塔があり、各面には天照大神をはじめ5つの神様の名前が刻まれている。



⑬笠岡代官所跡
笠岡は、徳川開幕当時から直轄領だった。1700年に初めて笠岡に代官所が置かれ、「井戸平左衛門」も代官を務めている。

凡例

- 銀の道
- 銀の道(サイクリング)
- 主な施設
- 駐車場・駐車可能場所
- トイレ
- トイレ(車いす可)
- レストラン・食堂
- 拠点
- 拠点スポット

銀の道(青い線)の一部は、時期によっては草木の生える箇所も有ります。通行が困難な場合は、「銀の道(サイクリング)」ルートをう回路としてご利用ください。

「銀の道」の大部分は地域の皆さんの生活道路です。交通法規を守り、迷惑運転にならない様、注意して運転してください。

上下から約 54km
大森から約 159km

複製不許可